

**教** 人文地理学概論

**教** 人文地理学

Introduction to Human Geography

KOGITA Toshihiko

小木田 敏彦

科目ナンバリング：DEC-2-346-03/DIB-2-431-03/DLP-2-349-03

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

政経学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「専門性」を身につける為の科目

**■授業の目的及び到達目標**

選択科目なので高校で地理を習っていない大学生が少なくない。そこで、前期では高校の地理に関する具体的なイメージを養い、後期では、大学の専門科目としての地理学は中学や高校の地理とは異なるため、地理学の歴史を講義する。

**■授業計画**

〔前期〕

- 1 ケッペンの気候区分①ー熱帯・乾燥帯  
熱帯と乾燥帯の風土について概観し、世界の都市の気温と降水量に関するデータから、その都市がどの気候区に属するかを判読する方法を学ぶ。
- 2 ケッペンの気候区分②ー温帯・冷帯・その他  
温帯と冷帯の風土について概観し、世界の都市の気温と降水量に関するデータから、その都市がどの気候区に属するかを判読する方法を学ぶ。
- 3 世界の大地形ー安定陸塊と造山帯  
「身近な地域」の分析を重視する日本の地理教育の伝統についての理解を深める。
- 4 世界の風土①ーヨーロッパ  
ヨーロッパの地形について概観し、アルプス以北と以南の農業の違いや伝統的な工業地帯の立地について学ぶ。
- 5 世界の風土②ー北アメリカ  
北アメリカの地形について概観し、アメリカの農業地帯の立地や伝統的な工業地帯の形成について学ぶ。
- 6 世界の風土③ーオーストラリア  
オーストラリアの地形について概観し、乾燥地域に見られる農業・牧畜業や地下資源の分布などについて学ぶ。
- 7 世界の風土④ー南アメリカ  
南アメリカの地形について概観し、ブラジルやアルゼンチンの農業や地下資源の分布などについて学ぶ。
- 8 世界の風土⑤ーアフリカ  
アフリカの地形について概観し、北アフリカの乾燥地帯に見られる伝統的農業や地下資源の分布について学ぶ。
- 9 世界の風土⑥ーユーラシア  
ヨーロッパとアジアの地形について概観し、ユーラシアの風土の多様性について学ぶ。
- 10 アジアの風土①ー西アジア・中央アジア  
西アジア・中央アジアの地形について概観し、乾燥地帯における伝統的農業や地下資源の分布について学ぶ。
- 11 アジアの風土②ー南アジア  
南アジアの地形について概観し、モンスーンと地形が生み出す多様な地域性や地下資源の分布について学ぶ。
- 12 アジアの風土③ー東南アジア  
東南アジアの地形について概観し、伝統的な農業や帝国主義時代におけるモノカルチャー経済の形成について学ぶ。
- 13 アジアの風土④ー東アジア  
中国の地形について概観し、各地域における農業の特徴と地下資源の分布について学ぶ。
- 14 アジアの風土⑤ーアジアの中の日本  
この地域の地形について概観し、日本がモンスーン・アジアであることを確認する。
- 15 アジアの風土⑥ー日本  
日本の地形について概観し、それぞれの地域における風土の多様性について学ぶ。

〔後期〕

- 1 地理思想の発達①  
バビロニアから中世ヨーロッパにおける地図の発達を通じて、地理思想の発達過程について紹介する。
- 2 地理思想の発達②  
地理学は19世紀に近代科学として成立したことを理解するために、この時代の「科学」の状況について紹介する。
- 3 近代地理学の誕生  
地理学の創始者とされる2人のドイツ人研究者について紹介する。
- 4 近代地理学の傍流①  
チューネンの農業立地論について取り上げる。
- 5 自然地理学と人文地理学の関係  
19世紀末に誕生した環境決定論と環境可能論について紹介する。
- 6 交通革命と旅行者が見た「風景」  
20世紀初頭にドイツ景観地理学が誕生した経緯について紹介する。
- 7 環境決定論に見る「東北」  
20世紀初頭にアメリカで復活した環境決定論について紹介する。
- 8 ドイツ地政学ー忘れ去られたもうひとつの地理学  
ドイツのカール・ハウスホーファーを中心に地政学について紹介する。
- 9 近代地理学の傍流②  
ウェーバーの工業立地論について紹介する。
- 10 集落と都市の地理学  
20世紀のアメリカで都市地理学が誕生した経緯について紹介する。
- 11 近代地理学の傍流③  
1930年代のドイツで都市システム論が誕生した経緯について紹介する。
- 12 高度経済成長と日本の地理学  
太平洋ベルトの形成を中心に高度経済成長期を振り返る。
- 13 日本の地理学よもやま噺①  
戦前に郷土教育という地理教育という系譜が誕生した経緯について紹介する。
- 14 日本の地理学よもやま噺②  
日本独自の風景論が誕生した経緯について紹介する。
- 15 日本の地理学よもやま噺③  
日本独自の人文地理学が民俗学の起源になった状況について紹介する。

**■授業の方法**

毎回授業の最初で作業を行ってもらおう。前期は各地の気温と降水量のデータから気候区を割り出した後、地域別に白地図完成を行う。後期は白地図完成ののちに講義を行う。

**■予習・復習**

特には定めない。

**■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）**

平常点と定期試験の総合評価。数回復習小テストを課し、その得点を集計して平常点とする。配点は平常点50%、定期試験50%とする。

**■教科書・参考書**

毎回、帝国書院『新詳高等地図』を使用する。

**■関連する科目**

人文地理学、自然地理学概論Ⅰ・Ⅱ、地誌学概論Ⅰ・Ⅱ